

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1126 青山工業団地調整池管理業務経費	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	03	河川費
基本 施策	15 自然災害等への十分な備えをする	目	03	準用河川改修対策費
		細目	355	準用河川管理経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	03	青山工業団地調整池管理業務経費
担当部課	コード	750100		担当者 氏名
	名称	青山振興課		
		中山 良憲	連絡先	52 - 1114 (内線)

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	青山工業団地調整池	※対象件数
成果(どうする)	転落事故や水害・火災事故等を防止する。	
根拠法令・要綱等	都市計画法	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	賠償責任保険の加入 除草業務委託	
社会情勢 の変化等	市の構造改革によりH22年度からは、本庁建設2課に移管、支所では、施設の修繕のみとなった。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	民間委託等
委託先	青山建設
2 配置人員	1人
3 年間運営費	1,306 千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
補修実施箇所数		箇所	目標	1	1	1
			実績	1	0	
除草回数		回	目標	1	1	本庁業務に移行
			実績	1	1	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
管理作業実施割合(管理作業実施箇所/要管理箇所)		工事実施箇所数実績となる。	%	目標	100	100	100
				実績	100	100	100
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	2,070	1,354		100		100		
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源	2,070	1,354		100		100		
事業投入人件費 (B)	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720		
フルコスト(A)+(B)	2,790	2,074		820		820		

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <input type="text" value="100%"/> 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 <input type="text" value="無"/> 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】 <input type="text"/>	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	
昨年度の 取組状況	【状況】 <input type="text"/> 【詳細】 ・調整池賠償責任保険の加入、草刈り業務委託

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	藤原 四郎
事業の方向性	【方向性】 <input type="text" value="現状維持"/> 【理由】 ・支所においては、H22年度から調整池の維持修繕(フェンス等)となった。
現時点における 課題、その他	特になし。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	